

神奈川県議会議員

石川ひろのり

県議会レポート 2025 vol. 36



石川ひろのり事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614
info@hiro-ishikawa.jp

県議会控室 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933



facebook



HP

石川ひろのり 検索

県政
刷新

県税の使い方を考える。

国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO2027) について

2027年3月に横浜市の旧瀬谷通信施設を会場として開催予定の国際園芸博覧会 (GREEN × EXPO2027) は、地域経済の活性化や観光振興の起爆剤として期待が寄せられています。一方で、有料入場者数1,000万人以上が見込まれていますが、その見通しには懐疑的な意見もあります。今回、産業振興特別委員会にて博覧会の建設費用や運営方針に関する質疑を行いました。

建設費は320億円に増加。県負担は？

石川 横浜市の発表によると当初240億円だった建設費が現在320億円となっている。昨今、原材料の物価高騰が続き、人件費の高騰も続く中、今後さらに建設費が増加した場合、対応はどのようになるのか。

国際園芸博覧会担当課長 会場建設費は、国、地方公共団体、民間でそれぞれ3分の1ずつ負担する方針が決定されている。地方公共団体分については横浜市が5分の4、神奈川県が5分の1を負担する仕組みとなっている。現時点で建設費用の増加という話はない。負担割合についても変更はなく、今後建設費の問題が発生した場合は横浜市と協議を進めることとなる。

石川 県は現在、博覧会への出展に関する設計・工事費として約16億円の継続費を設定している。建設費の増加が懸念される中、**県税を活用する以上、県民に対して透明性のある説明を求める**。一方、運営費360億円について、県はどのように関与しているのか。

国際園芸博覧会担当課長 運営費は入場料収入などで賄う計画であり、県の費用負担はない。入場料の正式な金額は未定で、過去の検討では3,500円が一つの目安として挙げられている。

国際園芸博覧会 県のコンセプト

出展のメインテーマ=県政の基本理念

“Vibrant INOCHI” 一人ひとりの“いのちが輝く”

GREEN×EXPO 2027のコンテンツの中心となる「花や緑、農、食」は、私たちのいのちや暮らしを支え、また、世代を超えて感動や笑顔をもたらすものであり、県政の基本理念である「いのち輝く」というコンセプトとも一致する。

この「いのち輝く“Vibrant INOCHI”」をメインテーマに、県の施策をPRし、自然と人が共生する持続可能な社会の実現をめざす。



県内観光客誘致に向けた取組みは？

石川 1990年に開催されたEXPOでは多くの企業や海外からさまざまな国の出展があった。今回のEXPOの現状はどのようになっているのか。

国際園芸博覧会担当課長 現在一次募集の段階で民間企業より231件の出展応募があった。海外出展については、現在協会で誘致活動を行っているが、具体的な国名については公表していない。

石川 1,000万人以上の来場を見込む中、プロモーションに関する役割分担はどのようになっているのか。また、観光局として県内への誘客についてどのように検討されているのか。

観光振興担当部長 基本的に博覧会協会がチケット販売や海外からの誘客プロモーションを行う計画となっている。県独自の具体的なプロモーション計画は現時点ではないが、アメリカ、中国、イギリスなどで現地プロモーションを活用し、観光客の誘致を図りたいと考えている。

石川 国・県・横浜市・協会の役割分担を明確にした上で環境農政局、観光局など庁内連携を円滑に進め、**当初目的を果たすべく開催に向けた準備を進めるよう求める**。

大阪万博の事例を踏まえると、国際園芸博覧会は今後、県の予算編成や県民負担に影響を及ぼす可能性があり、その運営にはより一層の透明性が求められます。県税を活用する以上、県経済の活性化や観光振興といった成果を確実に得るため、対費用効果や施策の妥当性を検証し、必要に応じて県民への説明責任を果たすことが不可欠です。今後もその動向を注視してまいります。

活動報告

第35回あさお福祉まつり

11月、麻生区役所と麻生市民館を会場に「第35回あさお福祉まつり」が開催され、開会式に出席しました。飲食ブースではカレーやすいとんが振る舞われ、ふれあい部門をはじめ各ブースでは福祉団体による活動紹介や体験コーナーが行われ、多くの方が関心を持って参加されていました。会場では多くの方からお声がけをいただき、福祉や地域の課題についてさまざまな意見交換をさせていただきました。地域のつながりと支え合いの重要性を改めて実感するとともに、貴重なご意見をありがとうございました。



くじらの森「森もりフェスタ」

12月、向原くじらの森で開催された「森もりフェスタ」に伺いました。多くの子どもたちや家族連れが参加し、森を巡るクイズなどを楽しむ姿が見られました。近年、麻生区でも緑地の減少が進む中、森もりクラブの皆さんは間伐や下草刈り、昆虫・鳥・小動物の生態調査を通じて森の保全に取り組んでいます。短い時間ではありましたが、豊かな自然と触れ合えるフェスタを皆さんと一緒に楽しませていただきました。



各町内会「もちつき大会」

12月、麻生区内各地域で毎年恒例の「もちつき大会」が開催され、参加させていただきました。今年も地域の皆さんと掛け声をかけ合いながら、楽しくお餅をつくことができました。会場には多くの家族連れや地域の方々が集まり、つきたてのお餅や豚汁を楽しむ姿が見られました。こうした行事は、地域コミュニティの絆を深めるだけでなく、災害時の炊き出し訓練も兼ねているとのことをお話を伺い、地域防災にも役立てられていることを改めて実感しました。



駅頭・街頭活動

麻生区内の各駅にて、皆さまの通勤・通学時間帯を中心に議会レポートをお配りしています。毎回多くのお声がけをいただき、地域の皆さまの声を直接お聞きする貴重な機会となっております。お見かけの際にはぜひご意見・ご要望をお聞かせください。



石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議員に初当選（現在3期目）。麻生区在住。引きこもり支援相談士。
 趣味：ジョギング（湘南国際マラソン大会・横浜マラソン大会などに出場。自己ベスト記録 3時間29分29秒）
 好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。

石川ひろのりホームページ



事務所スタッフ募集中

石川ひろのり事務所では、週2日程度（平日）勤務できるスタッフを募集しています。詳細は石川ひろのりのホームページからお問い合わせください。また、随時ボランティアスタッフやポスター掲示にご協力いただける方を募集しております。皆さまの温かいご支援・ご協力をお待ちしております。

石川ひろのりの活動への
ご支援（個人献金）のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。
 ▼石川裕憲後援会 【郵便局】払込取扱票にて（口座番号 00200-7-52777）【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの
ご意見・ご質問を
お待ちしております。
FAX 044-455-6614
E-Mail info@hiro-ishikawa.jp

ご意見など

ご記入いただきました情報は業務に限り使用させていただきます。当事務所内にて適切な管理、監督を行います。

県政報告(タウンニュース掲載)



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

県立地球市民かながわプラザは、令和7年度で閉館を迎えます。県政報告のモニタリング調査の高評価と大きく乖離しており、管理体制に課題が残る点を指摘しました。県に対し次期選定で展示内容や設備改善の見直しを求めています。データ収集と調査を強化し、観光客増加に伴うマナー違反や集中（オーバートーリズム）が地域住民生活に影響を及ぼす。皆さまのご意見をお待ちしております。

文化スポーツ観光常任委員会にて質疑「制度の透明性と管理体制改善を求める」
 かながわ未来県政報告vol.55
 神奈川県議会議員（麻生区選出） 石川ひろのり
 県政報告は12月19日まで第3回定例会が行われ、文化スポーツ観光常任委員会にて「指定管理者制度の透明性」「オーバートーリズム対策」などの質疑を行いました。管理体制の課題と改善を求め、県立地球市民かながわプラザは、令和7年度で閉館を迎えます。現指定管理者である青年海外協力協会には、15年間にわたり施設管理が委託されてきた。しかし現場を確認すると、展示室では30年前の映像資料がまだに使用され、複数の展示用モニターには「調整中」の張り紙が貼られている。県政報告のモニタリング調査の高評価と大きく乖離しており、管理体制に課題が残る点を指摘しました。県に対し次期選定で展示内容や設備改善の見直しを求めています。データ収集と調査を強化し、観光客増加に伴うマナー違反や集中（オーバートーリズム）が地域住民生活に影響を及ぼす。皆さまのご意見をお待ちしております。

石川ひろのり事務所
 麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
 ☎044-455-6611
 ☎044-455-6614
 石川ひろのり 代表

文化スポーツ観光常任委員会にて質疑「制度の透明性と管理体制改善を求める」
 2024年12月20日号

お名前	TEL
ご住所	